2026年11月2日（月）日本海新聞

日々往来

鳥取での生活を楽しんでいます

平野　豊



鳥取に来て4カ月が過ぎました。皆さまには各種会合などで温かく迎え入れていただき、改めて感謝申し上げます。

さて、私は今回の赴任で人生初の単身生活となったのですが、食事に関しては「おいしいものがいっぱいあるな」と感動しています。鳥取に来てすぐに県オリジナル米「星空舞（ほしぞらまい）」を買ったのですが、東京で食べていたブランド米より、ずっとおいしいと思います。週末に時間があるときは、賀露港に魚を食べに行ったりしていますが、刺し身はもちろん、煮つけやフライなど、東京とは違う魚がリーズナブルに食べられて、「今日は何にしようかな」と楽しみにしています。果物も好きでよく食べるのですが、スイカ、梨、ブドウなど、どれもおいしいですね。今夏は県オリジナル品種の赤梨「新甘泉」の甘さにびっくりしました。東京の家族にも送ったのですが、長男も「うまい、（食べる手が）止まらない！」と絶賛でした。

また、この間、鳥取しゃんしゃん祭の数千人規模で踊る「一斉傘踊り」では、街道の観客の熱気もすごいものでしたし、鳥取三十二万石お城まつりでは、今年が初の試みだというドローンショーも拝見しました。こうした地域の皆さまの伝統的なイベントが、進化を伴って続いていくのは素晴らしいことだと思います。

先月からは気候が良くなってきましたので、久松山に登ることを始めました。日ごろ運動していない私には結構ハードですが、頂上から景色を眺めるととても良い気分になりますし、出会った人たちとあいさつやちょっとしたお話しをするのもリフレッシュにつながっています。県内には、まだまだ行ってみたい所がいっぱいあります。これから徐々に足を延ばしていきたいと思いますので、皆さまお薦めのスポットがあれば、ぜひ教えてください。

（日本銀行鳥取事務所長）